

薩摩焼割付文様を活かした工芸品の開発

シラス研究開発室 ○山田淳人
企画支援部 鈴木こより

1. はじめに

薩摩焼割付文様は、白薩摩と称される薩摩焼の口縁部、肩部、裾部に描かれる幾何学文様で、赤や緑、金彩など多彩に表現されている。本研究では、白薩摩の割付文様の持つ可能性を、薩摩焼だけでなく、他の県内工芸品へ展開し、その有益性を実証するため、①資料、文献等における割付文様の調査、②割付文様とかごんまの色[®]を利用した割付文様集の作成、③割付文様を活かした工芸品の開発（薩摩焼、木製品、手漉和紙）に取り組んだ。

2. 割付文様の調査、薩摩焼割付文様集の作成

割付文様の調査に当たっては、センター所有の「大迫政次郎筆 白薩摩焼上絵図録」と薩摩焼伝来400周年を機に開催された展示会時に発行された「華麗なる薩摩焼-万国博覧会の時代のきらめき」を利用した。割付文様は、一つの図柄や画像から読み取れる文様を一つとして数えた。また複数か所に同一の文様がある場合も、一つとして数えた。

資料と文献を合わせた文様の出現率の高い上位10柄を、割付文様集としてまとめた。割付文様集は、(1)文様の名前や文様の由来、(2)モノクロによる文様展開、(3)資料に見られる色を利用した文様の展開例、(4)文献に見られる色を利用した展開例、(5)かごんまの色[®]を利用した展開例で構成した。また適宜、資料や文献から見られる割付文様の色や組み合わせの例などを記した。割付文様集の一部を図1に示す。

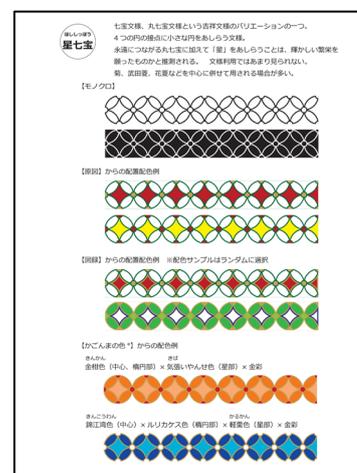


図1 薩摩焼割付文様集より

3. 薩摩焼への展開（白薩摩、黒薩摩）

3.1 白薩摩（小皿、アクセサリー）

薩摩焼（白薩摩）の展開先として、一つは、インバウンドを含めた観光客が増加している現況を踏まえ、コンパクトで持ち帰りやすい小皿製品とした。試作には、透明なシール用紙に図柄を出力したものを素地に貼り付け、試作段階で窯元とイメージを共有しながら検討することで、比較的短期間で、12種類の小皿を製作することが出来た（図2）。展示会や個展等では、組皿として評価が高く、同一デザインで色違いの発注を受けるなど販売実績を確実に伸ばしている。



図2 白薩摩小皿の一部

次に、鹿児島県の伝統工芸を身近に感じ、日常的に身につけられることをコンセプトにアクセサリーを開発した。県内の窯元で既に開発されているネックレスやピアス、指輪等のアクセサリーに加え、新しく割付文様を利用したブレスレットを中心に開発した（図3）。



図3 白薩摩ブレスレット

今後、展示会や個展等でのモニタリングを通して、完成度の高い商

品となるようブラッシュアップする計画である。

3. 2 黒薩摩（テーブルウェア）

薩摩焼協同組合に加盟の11社で結成した「薩摩焼割付文様型板研究会」の協力を受け、黒薩摩焼に展開した（図4）。

導入した窯元からは「割付文様は、古典的な和の文様であるが、釉薬次第では、現代的な文様として使えた。」「皿のリム部分に使える。」と概ね好評であった。また、「香炉の透かし彫りのためのガイドラインとして見えそうだ。」など新たな利用方法の提案もあり、今後、展示会や個展等での利用が期待できる。



図4 型板を利用した薩摩焼

4. 木製品への展開（テーブルウェア）

木製品の折敷（おしき）へ割付文様の透かしで加飾した。加工データは、レーザ加工時に材料の表面と裏面の加工精度の差や透かしの部分の強度を考慮し、透かし部分の間隔は、データ上で2mm以上空けるようにした。また、割付文様の透かしを入れる位置やサイズなどを統一し、割付文様集からの文様などを含む5柄（丸七宝、菱入り星七宝、花菱、青海波、麻の葉）で展開し、商品化を行った（図5）。販売会などでも透かし部分が目にとまりやすく、好評で、「薩摩焼割付文様柄折敷（銘々盆）」として令和6年度かごしまの新特産品コンクールにおいて鹿児島市長賞を受賞した。



図5 薩摩焼割付文様柄折敷

5. 和紙製品への展開（和紙を文字盤に利用した壁掛け時計）

割付文様を施した合板を和紙の製造技法である「落水」用のマスキング型枠に活用した。型枠サイズが570mm×980mmと大きいいため、透かしを入れた型枠が自重で破損しないよう型枠の割付文様の構成要素の間隔をデータ上で、3mm以上空けて強度を持たせた。型枠を6種類試作し、和紙を製作後、一部を壁掛け時計の文字盤に展開した（図6）。竹の編組も利用して「TRAD Flow 編・彩・然」として商品化された。令和5年度かごしまの新特産品コンクールにおいて特産品協会理事長賞を受賞し、新築祝い等の贈答品として全国的に販路を広げている。



図6 壁掛け時計 TRAD Flow 然

6. おわりに

白薩摩焼に見られる割付文様を、資料や文献の出現頻度から文様集としてまとめた。完成した割付文様集は、県内の伝統工芸品に展開できるデザインソースとなる。

例えば、レーザ加工機などを活用することで、薩摩焼をはじめとした県内の工芸品に展開、商品化することができた。また一部の商品では、コンクール入賞や販売実績を伸ばすなどの実績につながった。